

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501230
法人名	医療法人社団久利和
事業所名	グループホーム桜
所在地	愛媛県新居浜市船木甲3656番地8
自己評価作成日	平成21年10月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

医療法人が設立したホームで24時間体制での医療面でのバックアップがあります。医療連携先からは直接医師が来られ入居者の皆さんと直接話をし状態の把握をしてくれます。個々人のプライバシー、尊厳というものを大切に誠心誠意介護させていただいております。介護老人保健施設との併設で、様々なボランティアさん等との交流も多く、外部との交流には配慮しております。素晴らしい環境化にある当ホームに是非見学にお越しください。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

居室に掃除用具を置いている方もあり、又、事業所のモップ等を使ってご自分で床掃除をされる方もある。居室のしつらはそれぞれであるが、「馴染みのものを多く持ち込まれているの方が、生活ぶりが落ち着いておられる」と管理者は話しておられた。
 管理者や計画作成担当者の方は、職員の不安や心配事等にも気を配り、職員によく話しかけられ、意見を聞き取っておられる。
 事業所付近は水害の危険がある場所もあり、近々、砂を袋に詰め「土のう袋」を実際に作ってみることも計画されている。さらにスプリンクラーの設置についてもすすめておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 桜

(ユニット名) 1 階

記入者(管理者)
氏名 木村 信夫

評価完了日 平成21年 10月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホームとしての理念は面会に来られた皆さんにもよく見える場所に掲示し、全職員が周知し、理念の実践を目指しています。 (外部評価) 事業所では、「以前のご自身を取り戻せるような支援」を理念に揚げ、地域や外部の方との交流を大切に、行き来できるような関係を目指しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地元自治会の各種行事に参加することで、ホームの存在を認識していただいています。夏祭りへの相互参加は毎年盛んになってきました。その他の行事に地元の方がお越しいただけるように努力したいと思います。 (外部評価) ボランティアの方の協力を得て、月1回、水曜日にお茶会を開催されており、地域の方も来られている。高校生の研修を受け入れた際には、ホームの感想を聞かせてもらった。地域の夏祭り等に出かけて楽しまれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 管理者として、自治会の毎月の寄り合いの機会に、まずは介護保険についてはじまり、認知症とはどのようなもので、どう対応しなければいけないかなど、出前講座を始めていて、一旦途切れたが、ことしから皆さんの賛同を得て再開することとなりました。少しずつでも理解の輪を広げて行きたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 現在までは、様々な行事やホームでの研修の紹介が主 になっていた。今後はその行事を実施したことで皆さ んの様子にどのような変化が見られたか、こういった 効果があったかなど、日々の生活の場面を紹介して、 それに対するご意見を頂戴したいと思っています。</p> <p>(外部評価) 会議には法人の理事も出席され、事業所から行事報告 や今後の予定、職員会議の内容や部署会で話し合われ たことを報告して、ご意見や感想を出していただい ている。事業所では、会議時を「ご家族からの意見を聞 く機会」とも捉えて、ユニット毎に1家族は出席いた だけよう声を掛けておられる。ご家族からご意見を いただき、ホームのまわりを利用者が歩きやすいよう に改善された。</p>	<p>さらに今後、職員も会議に出席できるよう、取り組ん でいきたいと考えておられた。又、出席者の方達に、 実際に利用者の生活の様子等も見てもらおう等、ホーム を知っていただきながら、事業所が提供するケアにつ いてのご意見もいただけるよう、取り組まれてはど うだろうか。会議をさらに事業所のケアの質向上につ なげていけるよう、取り組みをすすめていかれてほ しい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市及び地域包括支援センターの担当者との連絡・相談 に関しては壁はなくいつでも、何でも相談できる環 境にあります。また、行政からは様々な情報発信を いただき連携・協力については順調です。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議に市の担当者も出席いただき、地域の方 からの質問に答えていただいたり、事業所からの報告 についてご意見をいただいている。毎月介護相談員を 受け入れておられ、利用者とおしゃべりの中から 個々の暮らしの希望等を聞いていただいている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 開設以来、身体拘束の必要性は皆無で、またそのこと を検討したことも有りません。今後も、この方針で運 営していきたい。</p> <p>(外部評価) 事業所は、「一番に利用者の生命の安全を大切に」にさ れており、リスクも考えながら取組みを検討されて いる。現在、落ち着かない状態の利用者があり、安全 を守るために、玄関内の居間から外に出入りする扉に は鍵がかけられていた。</p>	<p>事業所では利用者の身体機能の低下に伴い、ケア等、 職員のレベルアップにも取り組み、職員の勉強もすす めていきたいと考えておられた。ケアの工夫等で利用 者の安全と自由を守っていけるよう話し合いを重ねて いかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホームの職員が主体となった研修を、併設の老健施設と合同の全体研修会で実施しています。虐待にも言葉によるものなどさまざまなケースがあることを全職員が交代で研修担当になり、実際に調べ、話すことを通じて知識を身に付けるべく努力し、虐待の防止に全員が取り組んでいます。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 主介護者の高齢化が一番の心配であり、ご家族には本制度の存在や利用方法について資料をお渡しするなどして、支援しています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に必ず説明の時間を設け、ご家族に運営規程、重要事項説明書を提示して、内容の説明を行い、同意の上で契約行為を行っております。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、要望だけでなく、職員には言いにくい不平もあるのかと思います。市の包括支援センターさんから派遣される介護相談員制度の導入で、少しでも、今まで聞こえなかった声を耳にすることが出来て効果が現れていると思います。また、運営推進会議等でも忌憚のないご意見を伺い対応できる体制です。 (外部評価) 行事時には、ご家族も利用者と一緒に楽しめるよう案内されている。いも炊き会時には、事業所で調理する際、ご家族も手伝ってくださった。「桜通信」を季節ごとに発行して、ご家族に行事や日常のお茶の時間の様子等を伝えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月の職員会議（改善会議）において出てくる意見を重視し、日々の問題点を把握して、業務改善を行い、仕事のストレス、悩みの素にならないように努めています。また、各種の年間行事の運営は職員の独自性に任せて行っています。（職員とご家族の一体感も、各種行事で現れています。）	
			(外部評価) 職員からは利用者の居室のしつらえや設備等について、利用者の状態等に合わせて提案があり、話し合い採り入れられている。管理者や計画作成担当者の方は、職員の不安や心配事等にも気を配り、職員によく話しかけられ、意見を聞き取っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与水準や職場環境など、他のホームと比較しても下回っていることはないと思います。必要なことは現場主任から相談すればほぼ経営者の了解を得ている。労働時間面でも、週40時間労働が遵守され、超過勤務も性格に把握評価し、休暇取得も法定どおり確実に行われ、条件的には問題ないと思います。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 老健施設の併設というメリットで、医師、看護師、管理栄養士等からの各種の研修があります。その研修内容以外の外部研修には努めて参加しスキルアップにつなげています。更に、日々の業務を通じた自己研鑽で資格取得を目指すよう努めている。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 開設当初よりは、連絡を取りやすいホームも増えた。しかし、職員の他ホーム見学の機会がなかなか得られないのが現状ではないでしょうか。今年は、近くのホーム同士連絡を取り合い、相互の見学を実施したいと考えている。これは、「井の中の蛙」にならない為お互いに有益なことであり、是非実践しなければならないと思っています。	
			(外部評価)	
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 最初からご本人と一緒に見学、相談に来られるケースはまれです。私たちは、必ずご本人と共に来られる機会を作っていたたき、ご本人と直接お話ができるようお願いしています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>申込段階でまず現状をお聴きし(在宅サービスの確認や紹介なども)、順番待ちの途中で現況を伺い、入居が目前となったときには直近の生活状況や、ご希望などを詳しくお聴きしてケアプランに反映すべく、ご本人、ご家族との関係作りに努めています。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まず、申込の段階でよくお話を伺います。その段階で本当にどのようなことで困っているか、今までの在宅サービスでは対応できなかったのか等をお聞きし、必要としていることを把握するよう努めています。そして、入居後もこういった「ご家族の協力」が必要ですよという説明をし、十分な同意を得ることが重要だと考えています。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>催しの準備でお弁当が必要なときなどは、職員の見守りの下、ご利用者が主になって行っています。また、日々の生活に必要な活動、たとえば炊事、洗濯、掃除などお手伝いいただけることは出来るだけ参加していただいで一緒に行っています。その中に、先輩方の意外な生活の知恵を拝見することも……。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の皆さんの認知症の度合いはどうしても年々進んでまいります。その現状を目にし、昔との落差に打ちひしがれるご家族がおられます。私たちは、そちらの心のケアも大変重要な業務と思っています。これは職員から出たことでもありますが、ご家族との普段からの結びつきの重要性を痛感しています。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>特に、定期的な面会がご本人の心理状態の安定に大きく作用しています。ご家族が来られた時には、お友達の面会や馴染みの散髪屋通い、墓参りなど今まで習慣となっていた行事ごとへの外出をお願いしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>併設施設の通所りハビリに通われているご親戚の方が、会いに来てくださることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 皆さん、次第に高齢になられ、それなりに難しい面も見え隠れしています。日々の生活の中では、何でもないことからの口げんか等もありますが、職員が早めの対応をすることで大きくなることもなく、また孤立することもなく比較的穏やかに推移しています。(1階では、夜間に人柄が激しく変化される方がおられ、十分な配慮をしています。)	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去されても、在宅に戻られた場合には、併設老健の通所リハビリをご利用いただくなど、完全に関係が途切れることは殆ど有りません。それだけに、日々の生活支援とご家族との信頼関係構築がいかに大切かを再認識しています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 最近、面接時のお話以外に、ご本人に関するレポートを提出していただけるご家族もあり非常に役立っています。何が好きで、特にどのようなことが嫌いで、機嫌を悪くされるかなど、ご本人の個性の確認に努めています。 (外部評価) 職員の入れ替わりが少なく、開設時からおられる職員も複数おり、職員個々に利用者のことをよく知っておられる。又、日々の介護記録に利用者から聞き取ったことや職員の気付きを記録されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今年の新居浜市からの要望でADL、個々人の生活歴を記入する書類の提出があり、「他のホームと比較しても大変詳細な記述であった」との言葉をいただきました。全職員、一番大切にすべき点がおひとりお一人の生活歴であると認識して、誠心誠意支援させていただいております。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一日の状態は、早出、日勤、遅出、夜勤といった各職員が詳細に記録し、細かい変化も逃さないように気配りしております。また、その内容をご家族の面会時にお知らせするよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 公平な立場から、特に在宅サービスの担当であったケアマネジャーからの情報が大変重要で、それにご家族からのご希望、ご意見を取り入れています。入居後のご本人の日々の状況をよく見て、次のカンファレンスでよく話し合い、計画内容を見直しています。</p> <p>(外部評価) 事業所では「ご本人やご家族の希望を大切に」、「利用者のしてほしくないこともしないということ」を考えた介護計画を立てられるよう努めておられる。ご家族の来訪時や電話でお話する際に要望や意見を聞き取り、内容に反映できるよう努めておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の介護経過記録をご利用者ごとに作成し、詳細に記録しています。そして、毎日介護計画に沿った支援ができたか、またその評価はどうであったかを記録に残し、次への参考としています。「あっ、こんな一面もあったのか」という新たな気づきに出会えるように細かな見守りをしたいと思っています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご本人への支援は当然ですが、それを支えているご家族に対する精神的なフォローが大切であると、最近職員からもよく声が上がります。また、併設老健での各種の催しへ積極的に参加できる体制もあり、単独のグループホームでは出来ないサービス提供も出来ていると思います。(但し、参加の強制はしません、ご本人の意思を尊重しています。)</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域の観光資源、季節の催し、ボランティア活動の導入、介護相談員の導入、更には新居浜人には切っても切れない秋の太鼓祭りへの触れ合い等を通じて、外部との接触を忘れないようにする努力をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族のご希望を最優先した医療機関をご家 族のご協力を受けながら受診しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>母体医療機関の指示を仰ぎながら、利用者個々の健康 管理をされている。利用者の体調や状態は、電話でご 家族に伝えておられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>設立者が医療法人ということもあり、必要な研修や指 導で的確な報告や相談が出来ている。また、医療連携 先の看護師や医師の直接の回診等もあり、ホームとし ては適切な受診や看護を確保しています。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医療法人設立のグループホームであり、入院の受け入 れもスムーズで、病状の情報交換も頻回で、受診時に はご本人の元に様子伺いに行くなど、他の入居者さん との関係も途切れないようにしています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の説明時に、この点については十分な説明を申 し上げています。また、このような状況が発生しそ うな場合は、主治医よりご家族に説明をしていただき ホームとご家族、医療機関の連携が取れていると思 います。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の状態が重度化したような場合には、母体医療 機関やご家族とも話し合い、入院、又は、併設施設へ の入所となる方もある。</p>	<p>今後、利用者個々の思いや意向の把握に取り組み、そ の中で「終末期のあり方」の希望等についても探っ ていかれてほしい。ご本人ご家族が希望する支援を事業 所で支えていけないか、ということについても話し 合ってみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時や事故発生時の緊急連絡や対応についてはマニュアルで研修し、併設の老健とも連携し順調に推移しています。また、協力病院による指導で特別な症状にも適切に対応できています(緊急受診、てんかん症状等)。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災については、日中および夜間を想定した訓練を実施、災害時の避難等については全体職員会で研修しています。2004年の災害のときは、当施設は丁度安全地帯に位置していた為水が引くまでは交通の不便はあったが被害はなかった。建物の強度もあり、地震、水害時にはこの敷地自体が近隣の避難場所になるのではと推測されます。運営推進会議でも話があり、協力していきたい。 (外部評価) 年に2回、避難訓練を実施されており、消防署の協力を得て火災を想定した訓練を行われた。又、事業所付近は水害の危険がある場所もあり、近々、砂を袋に詰め「土のう袋」を実際に作ってみることも計画されている。さらにスプリンクラーの設置についてもすすめておられる。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳を重んじる上でプライバシーの保護はとても大切なこと言うまでもないことです。年間の職員研修会では、このことについて、研修を実施し、当たり前のことが、自然に行われるように、認識を高めています。 (外部評価) 職員は、「利用者が動き出す前に声をかけない」よう心掛けておられる。職員が、利用者のそばでやさしく声を掛けておられる様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 出来る限りご本人の「YES, NO」を伺う努力を日々行っており、それが普通の会話になっています。そういった点では強制したり、個人の思いを無視したりと言うことはなく、したいことをしたくないことを主張したり、自己決定を優先しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事や口腔ケアなど、日々の共同生活で健康維持のため最低限必要なことはお願いしますが、その他のことについては、皆さんご自身の思うままに、過ごしておられます。強制することはありません。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) これには、ご家族の協力が欠かせないと思っております。歳を重ねても、綺麗で居たい、あるいは格好よく過ごしたいと誰もが思っているはず。職員のテクニックで、みだしなみやおしゃれ感覚を忘れない手助けを再認識し努めます。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 当ホームが老健施設の併設という特徴を活かし、食事の準備を皆さんと一緒にしています。そして、出来る限り皆さんの身の回りの支援に時間を費やせるように体制作りをしています。食事の準備、片付けも生活リハビリでは重要な場面であり、皆さんに助けていただいき和やかにしています。 (外部評価) おかず等は、法人からほぼ出来上がったものが届くようになっており、ご飯や汁物を事業所で利用者とともに作っておられる。職員は、それぞれにお弁当等を持参され、利用者とお話ししながら食事をされていた。食後は、利用者が職員と食器を洗ったり、拭いたりされていた。法人の栄養士の方が食事の様子を見に来てくださることもある。ご家族からは、食材をやわらかくしてほしいというような要望もあり、法人の給食委員会時に報告されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 併設施設の管理栄養士の応援もあり、また主治医からの食事に関する指示等も考慮して、皆さんに適した支援をしています。また、出来ることはご自身でしていただき、介護のし過ぎがないように、まさしくエンパワーメント、出来ないところを支援することが重要と考えて対応しています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性は十分に認識しており、必ず声掛けし毎食後、自立されている方、見守りの必要な方、あるいは誘導して介助の必要な方それぞれに忘れず実施しております。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 毎年記述していることですが、おむつ減らしは大変重要な課題と認識しています。声掛け、トイレ誘導など可能な限り行動して排泄の支援をしています。	
			(外部評価) 利用者が席を立たれると「トイレですか」と声を掛けて誘導されていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動不足が便秘の原因になるとよく言われますが、ホーム内の歩行訓練やホーム周辺の散歩にお誘いして体を動かしていただくよう努めています。協力病院とも連携し、早期対応をしますがすがしい日々を過ごしていただけるようにしています。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴を楽しみに待たれる方も居れば、入りたくない方もおいです。清潔保持の為にタイミングを考え、皆さんに機嫌よく入浴していただいています。現状は、ほとんど順調に入浴しておられます。	
			(外部評価) 現在、お風呂を心待ちにされている方も多く、利用者全員が浴槽で温まれるように支援されている。利用者の中にはお風呂で歌を歌う方もあり、それぞれがリラックスして入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 職員は入居者の皆さん個々人の生活リズムを大切にしたい、見守りや支援をしておりますが、日中眠りすぎによる昼夜逆転が起こらないように注意しながら声掛け等も行っています。基本的には、皆さん思い思いに過ごせるようにしています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 毎回、記しておりますが、お薬の服用方法や効能を書いた説明書を理解し、不明な点は病院、薬局へ問い合わせをし、服薬管理はしっかりと行っています。また、服薬による状態の変化等が有れば直ちに連絡できるような連携体制をとっています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手芸、カラオケ、料理、洗濯など皆さん様々な得意分野をお持ちのようです。生活歴を理解することで、在宅中よく行っていた生活習慣のことなどを伺うことで会話もはずみ、生き生きとお手伝いをいただけるように支援することが重要であると認識しております。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 入居者の皆さんのその日、その時々希望に沿って外出等ができればいいことはありませんが、現実には思うようには行きません。出来る限り必要に応じて時間は取りますが、他の皆さんのこともあり、ご家族に協力が何よりの助け舟です。年間を通して、いろいろな計画をし、出かけており、皆さん楽しみにしていただいています。	
			(外部評価) 敷地内を散策されたり、季節に応じてお花を楽しみに出かけたり、地域の夏祭りに出かけてたりされている。	さらに、利用者個々の行ってみたいところや懐かしい場所にも出かけてみるような支援はできないだろうか。理念にも沿って、利用者個別の支援等にも取り組んでいかれてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 毎回のことですが、個人が自由に金銭を持っているようなトラブルがありました。その都度、皆さん、ご家族、職員がいやな思いをします。入居者によって、個人でお持ちの方も居れば、ご家族との話し合いで職員側で管理し、出納の報告をするばあいもあります。特に、ご不便をお掛けすることもなく推移しています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は皆さんが普段通る廊下であり、ご希望があればいつでも取り次ぎます。また、ご家族からもよく電話がかかってきます。手紙のやり取りも一部の方ではありますが自由にされていますし、特に制限などございません。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>各居室も12.5㎡、廊下、居間、トイレなど細心の機器が使われています。また、間接照明を取り入れるなど、ホームの雰囲気としては落ち着きのある居心地のよい空間ではないかと思っております。特に、ゆったりとくつろぐソファからの景色、庭の眺めは心休まるのではないのでしょうか。</p> <p>(外部評価)</p> <p>照明の明るさは、少し落としてあった。テーブルにはさざんかが生けられており、利用者の話題に上っていた。職員は、ピンクのお揃いのポロシャツを着ておられ、名札を付けておられる。テレビの横には雑誌等もあった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂のテーブルも小分けできますし、テレビに面したソファだけでなく、テーブルを配したソファではお好きな趣味を楽しめるなど居場所はたくさん確保できています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室内の調度品は、いままでご自宅でお使いの物をお持ちいただくようお願いしていますので、ほとんどの方はご自分の都合の良い状態にして生活されていると思います。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室に掃除用具を置いている方もあり、又、事業所のモップ等を使ってご自分で床掃除をされる方もある。居室のしつらえはそれぞれであるが、「馴染のものを多く持ち込まれているの方が生活ぶりが落ち着いておられる」と管理者は話しておられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレへの移動を取っても、手すりを配して安全に歩行できるよう配慮しています。しかし、現在の入居者さんにとっては、備品が近代的なものが過ぎて、本当はもっとレトロなものがあれば理想なのかも知れません。(裸電球など・・・)</p>	